

徳地鶏卵 香港に輸出

県産で初 富裕層ターゲット

山口市の養鶏業徳地ファームは13日、生産する鶏卵の香港輸出を始めた。安全性の高い食材を求める現地の富裕層をターゲットに、新たな販路の定着を図る。県によると、県産の鶏卵が本格的に輸出されるのは初めて。

輸出するのは、約30万羽を飼育する同市徳地引谷の農場で生産した卵。福岡市の博多港から海上輸送し、現地の商社を通じてスーパーなどで販売する。年20トの出荷を見込む。徳地ファームによると、日本産の卵は安全性への評価から香港で人気が高い。輸出量が



香港に輸出する鶏卵を箱詰めする内外飼料の従業員

伸びており、今回も現地の業者から取引の打診があった。日本と異なり、卵は加熱調理が前提という。店頭価格は10個入り300円前後。店頭価格が1個の山縣幸成代表取締役は「まずは現地で認められ、県内の市場の活性化にもつながりたい」と意気込んでいた。(井上龍太郎)

山陽小野田工場爆発 飛散石綿の濃度 許容値を下回る

山陽小野田市の中国アセチレン小野田工場が爆発炎上し、破裂したアセチレンボンベからアスベスト(石綿)が飛散した問題で、県は13日、工場周辺の延べ10カ所を実施した大気中の石綿濃度の調査結果をまとめた。1カ所当たりの石綿繊維は最高7.5本と、大気汚染防止法が許容濃度の上限とする10本を下回った。

7.5本だったのは、事故翌日の6日に調べた工場の敷地北側の境界。東側の境界は0.71本だった。北側の境界を含む工場から半径1.2キロ圏内の8カ所を対象にした11日の調査では、石綿を含む繊維質は0.22〜0.79本で、工場から7.4キロ地点の0.79本と同水準だった。

大気汚染防止法は、石綿の生産加工施設の周辺の許容濃度を「10本」と定める。県環境政策課は「健康被害が懸念される水準ではない」と説明。飛散物質の除去作業が終わるまで、調査を続ける。

事件・事故

酒気帯び運転の疑い 周南署は13日午後5時ごろ、周南市福川2丁目、自称無職藤井保容疑者(78)を道交法違反(酒気帯び運転)の疑いで現行犯逮捕した。周南署の調べでは、同市古市1丁目の県道で酒を飲んで軽ライトバンを運転した疑い。対向車線の軽乗用車に衝突する事故を起こして発覚した。

家族葬
コーススペース

5万円
会員価格

プランが
お任せ下さい

アイス
場使用

円(税別)

グループ

家族葬 飾り帯桶

どなたでも
ご利用
いただけます

家族葬 飾り帯桶

HOSHIE ホシエ

山口県岩国市錦見三丁目2番3号
TEL0827-35-6432 FAX0827-35-6433

広仏 ホシエ 検索

ホシエコーポレーション株式会社

ご葬儀の事なら24時間365日受付 よいな ひろぶつ

0120-47-1622

家族葬 飾り帯桶

HOSHIE ホシエ

用塩麹

物のかくし味に、魚や肉、に、鍋料理や煮物など、える調味料です。

母さんの味
ますやみそ

検索

冷や汁

鯛と白ごま入り

香ばしい夏バテしらず!

おいしい手造りみそ、あま酒、漬け物に!

乾燥米こうじ

夏の野菜を手軽に
美味しく
いただけます!